

## 情報処理月例会のお知らせ

昭和48年2月期例会を下記のとおり開催いたします。今回はとくに、電子計算機により動画を作成された方がたにお集りいただき、その手法の特徴と成果の発表ならびに問題点の審議を行なうことになりました。どうぞ会員外の方がたもお誘い合わせのうえ、多数ご来場ください。

日 時 昭和48年2月20日(火) 午後1時30分～4時30分

会 場 日本アイ・ビー・エム(株) オーディオルーム(地下1階)

地下鉄日比谷線 六本木下車 10分

都バス(渋谷一溜池一新橋) 六本木二丁目下車 3分

港区六本木 3-2-12 (電) 586-1111

テーマ 電子計算機による動画作成  
(およびその上映)

講 師 (順不同)

鷹尾洋一(日本 IBM), 堀越清視(鹿島建設), 西原清一(京大), 沓沢淳之助(NHK 総研),  
原島 鮮(国際基督教大), 荻田直史(理化学研), 渋谷政昭(司会, 月例会幹事)

## 第13回大会予稿集の頒布について

47年度第13回情報処理学会大会は、去る12月5日、6日の両日に延べ2,500名の参加を得て、盛会のうちに無事終了いたしました。大会にご協力いただきありがとうございました。

同大会の予稿集が多少のこっております。必要の方には1,200円(郵送の場合は1,400円)でお頒けいたしますので、早目にお申し込みください。

## 新年度会費納入についてのお願い

昭和 47 年度も残りわずかとなりましたが、本学会では会費の前納制をたてまえといたしておりますので、**新年度会費はきたる 3 月 31 日までに**、各位もれなくご納入くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。(本号とじこみの払込用紙をご利用くだされば好都合でございます。)

なお、48 年度の会費は下記のとおりになっておりますので、念のため申しそえます。

### 記

正 会 員	4,800 円
学 生 会 員 (大学院修士課程まで)	1,500 円
賛 助 会 員 (一口)	30,000 円

不本意ではありますが、お払込みがありませんと会誌の発送がストップされることもございますので、悪しからずご了承ください。

——47 年度の会費はもうお払込み済でございますでしょうか?——

## 講演のお知らせ

昭和 48 年 3 月開催の月例会を下記によって開催いたしますので、会員外の方がたもお誘い合わせのうえ、なにとぞ来聴ください。

日 時 48 年 3 月 9 日(金)14:00~17:00

会 場 機械振興会館地下 2 階ホール

演 題 データ・ベース・マネジメント・システムと TSS

講演者 Clark Weissman (Chief Technologist, R&D Div., System Development Corp.)

講演概要 自然言語による Q&A システム, コンピュータ・ネットワークとコンピュータ・コンプレックス・システムならびに SDC のデータ・ベース・マネジメントの応用事例等についての解説と説明 (英語, 通訳つき)

なお、資料がある場合には、月例会員外は、資料代 (実費) をいただきます。

## 「標準コード用漢字表 (試案)」について

本学会規格委員会漢字コード委員会ではこのたび標記の資料を作成いたしました。入手ご希望の方には実費でお頒けいたしますので下記の要領にてお申し込みください。

### 記

内容) 電子情報処理のための標準コード作成の準備として、漢字コード委員会が選んだ 6,100 種の漢字を収める。

価格) 1 部 200 円 (送料 60 円)

申込) 必ず前金 (現金書留) にてお願いいたします。

なお、部数に制限がありますので、早めにお申し込みください。

本学会協賛 国際会議の案内

造船所の自動化に関する国際会議 ICCAS†

主 催 IFIP/IFAC／(社)日本造船学会  
会 期 昭和 48 年 8 月 28～30 日 (3日間)  
会 場 経団連会館 (東京都千代田区大手町)  
参加費 ¥ 15,000 (5 月 31 日まで), ¥ 18,000 (6 月 1 日以降)  
申込・問合せ先 (社)日本造船学会 国際部  
〒105 東京都港区芝琴平町 35  
電 話 東京 (03) 502-2048

† 正式名は会誌第 13 巻 12 号の「IFIP のページ」参照.

国際固体素子コンファレンス

主 催 (社)応用物理学会  
会 期 昭和 48 年 8 月 29～31 日 (3日間)  
会 場 東京商工会議所 (千代田区丸の内)  
講演申込 昭和 48 年 3 月 10 日まで (申込用紙請求のこと)  
参加費 学生 5,000 円, 一般 9,000 円 (ともに含予稿集代)  
参加申込 昭和 48 年 6 月 15 日まで (用紙請求のこと)  
申込・問合せ先 (用紙請求も同じ)  
(社)応用物理学会 同会議係  
〒105 東京都港区芝公園 3 機械振興会館内  
電 話 東京 (03) 434-6659

第 7 回サイバネティクス国際会議

主 催 国際サイバネティクス協会  
会 期 1973 年 9 月 10～15 日 (6日間)  
会 場 於ナミュール (ベルギー)  
テーマ サイバネティクスの基礎と方法, セマンティクス・マシン, オートメイション, サイバネティクスと人文科学, サイバネティクスと生命  
公用語 英語・仏語  
参加費 2,000 ベルギーフラン† (同協会員は半額)  
申込先 Association Internationale de Cybernétique, Palais des Expositions, Place André Rijckmans, B-5000 Namur (Belgique)

† 1 ベルギーフラン=約 7 円, したがって約 14,000 円程度.

## 48 年度会費納入についてのお願い

昭和 47 年度も残りわずかとなりましたが、本学会では会費の前納制をたてまえといたしておりますので、**新年度会費**はきたる **3 月 31 日**までに、各位もれなくご納入くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。(本号とじこみの払込用紙をご利用くだされば好都合です。)

なお、48 年度の会費は下記のとおりとなっておりますので、念のため申しそえます。

### 記

正 会 員	4,800 円
学 生 会 員 (大学院修士課程まで)	1,500 円
賛 助 会 員 (一口)	30,000 円

(注) 不本意ではありますが、お払込みがありませんと会誌の発送がストップされることもございますので、悪しからずご了承ください。

——47 年度の会費追加分 (900 円) はもうお払込み済でございますか? ——

## 48 年度の情報処理月例会と研究会について

48 年度の研究会活動計画として、1) データ・ベース、2) マン・マシン・システム、3) 計数言語学、4) 計算機設計自動化、5) 医療情報処理の各分野をとりあげ、それぞれ年数回の研究発表会をもつよう、準備をすすめております。研究会に参加希望の会員は、所定の金額を添え、登録のお申込みをいただくこととなります。詳細については決定次第、本欄によりお知らせいたしますのでご留意ください。

なお、現在行なっている情報処理月例会は、上記研究会の充実により、充分にその役割をカバーされ得るので、研究会に発展的に吸収されることとなります。従って、月例会登録会員は、48 年度からは上記の研究会に改めて (選択の上) お申込みいただくこととなります。詳細は追って郵便にてご連絡いたします。(なお 47 年度月例会登録費 (1,000 円) 未納の方は、至急ご納付ください。)

## ダイナミック・マイクロプログラミング・シンポジウム

標記のシンポジウムを7月中旬、東京近郊で開催することになりました。話題はダイナミック・マイクロプログラミング、ファームウェアに限定し、参加者には必ず発表していただくことになっております。なお、詳細については下記担当幹事までお問い合わせください。

〒 160 東京都新宿区西大久保 4-170  
早稲田大学理工学部 宇都宮公訓  
TEL (03) — 209 — 3211 (ex. 270)

## 第 11 回通常総会ご案内

昭和 48 年度通常総会を下記によって開催いたします。総会通知状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

### 記

- |      |  |
|------|--|
| 日 時  | 昭和 48 年 5 月 17 日 (木) 13 : 30~14 : 00   |
| 会 場  | 機械振興会館 (地下 3 階) 研修 1 号室  |
| 総会次第 | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 会長あいさつ</li><li>2. 昭和 47 年度事業報告および決算報告</li><li>3. 昭和 48 年度事業計画および予算審議</li><li>4. 昭和 47 年度論文賞の発表と表彰</li><li>5. 新役員の選定</li><li>6. 会長退任のあいさつ</li><li>7. 新会長就任のあいさつ</li><li>8. その他</li></ol> |

特別講演 (14 : 00)

「コンピュータ・ネットワークにおける諸問題」  
大泉充郎 (前副会長, 現東北支部長)

## 会費の納入について

前号までお願いしてまいりました 48 年度会費の納入につきましては、多数の会員の方からご協力をいただきました。紙面をかりて感謝申し上げます。なお、年度末・学期始めなど時節柄多忙のため、現在まで未納となっております方、至急本号とじ込みの振替用紙にてお払い込みくださるよう、お願いいたします。

また、前年 (47 年) 度会費について、いまだ若干の方が未納となっておりますので、該当される方は、本 48 年度会費とあわせ早急にお払い込み願います。

なお、住所・勤務先など、会誌の送付先また連絡先に変更のあった場合は、すみやかに文書 (はがきも可) をもって、本会事務局 (会員係) までご連絡ください。

## データ・ベース研究会予告

去る 48 年 2 月 28 日 (水) 午後 2 時より、第 1 回研究連絡会を開き、48 年度研究発表のテーマを次のように内定しましたので、お知らせいたします。

○第 1 回 (6 月予定)

1. 学術研究におけるデータ・ベースの意義 (国井, 山本)
2. DBMS の最近の動向 (小林)

○第 2 回 (9 月予定)

1. JICST の大規模情報検索 (笹森)
2. DBTG 提案について (西村, 植村)

○第 3 回 (12 月予定)

1. 製造工業におけるデータ・ベース (塩谷)
2. 国鉄におけるデータ・ベース (稲田, 槻木)

また、同研究会を運営する幹事のメンバーには、次のとおり 19 名がまきました。

西野博二(主査, 電総研), 国井利泰(代表幹事, 東大), 斉藤忠夫(東大), 植村俊亮(電総研), 柴山敏明(横須賀通研), 笹森勝之助(JICST), 上條史彦(日本 IBM), 稲田伸一(国鉄), 上野 滋(労働省), 酒井博敬(日立), 小林功武(日本ユニバック), 西村恕彦(電総研), 柳井朗人(電通), 穂鷹良介(SSL), 津田良成(慶大), 藤原鎮男(東大), 中山和彦(文部省), 内田幸久(日電), 古河建純(富士通) の計 19 名。

なお、本研究会への参加申込みならびに確定したその他の研究会については、次号本欄によってお知らせいたします。

## 昭和 48 年度電気関係学会東北支部連合大会ご案内

日 時 昭和 48 年 8 月 30 日(木), 31 日(金), 9 月 1 日(土)  
会 場 日本大学工学部 (郡山市田村町徳定字中河原)  
講演申込 7 月 5 日 (木) まで  
原稿締切 7 月 20 日 (金)  
共 催 電気学会, 電子通信学会, 照明学会, 日本音響学会, テレビジョン学会, 情報処理学会の各東北支部  
申込・問合先 〒 980 仙台市荒巻字青葉  
東北大学工学部電気系学科内  
電気関係学会東北支部連合事務局  
電話 (0222) 22-1800 (内 3327)

## 情報処理学会の研究会について

このたび本会では、近年急速な発展をとげつつある情報処理の諸分野における研究成果の発表・討論の場を提供し、共同して研究調査活動を推進することによって、各分野の研究活動をさらに活発化し、知識の交流を促進することを目的として、本 48 年度より、下記の四つのテーマについて、研究会を正式に発足させることになりました。

これらの研究会は、会員が自由に参加し、発表し、討論することができるものです。毎月の研究会の予定については、その前月の会誌に会告いたしますので、ご覧のうえ、積極的にご参加ください。研究会の各発表にあたっては、10 頁程度の資料を作成し、これにもとづいて講演と討論を行ないます。予稿は当日各会場でも頒布いたしますが、部数が不足する場合がありますので、別記のように年間予約登録されることをおすすめいたします。

各研究会の主査、代表幹事は下記のとうりですので、発表ご希望の方は、主査または代表幹事までお申し出ください。

なお、研究会の運営の詳細については別掲の「研究会運営細則」を参照してください。

### 情報処理学会研究会（昭和 48 年度）

研究会名	主査・代表幹事	取り扱う研究分野の例
1 データ・ベース	(主査) 西野 博二 (電総研) (代表幹事) 国井 利泰 (東大, 理)	○データ・ベース・システムの理論 ○データ・ベース・システムの実際 ○関連ソフトウェア技術 ○データ・バンクの問題 ○データ・ベース・システムの影響
2 マン・マシン・システム	(主査) 大須賀節雄 (東大, 宇宙研) (代表幹事) 飯田 善久 (鉄研)	○マン・マシン・コミュニケーション方式の基礎 ○CAD ○CAI ○システムの評価 ○入出力装置
3 計算機設計自動化	(主査) 加納 弘 (日立, 武蔵) (代表幹事) 宇都宮公訓 (早大, 理工)	○計算機設計自動化のための理論 ○手法 ○システム ○装置 ○マイクロプログラミング ○論理装置設計言語
4 医療情報処理	(主査) 吉本 千禎 (北大, 応用電気研)	○診断 ○医学 ○疾病統計 等に関する情報処理

## 昭和 48 年 6 月～7 月情報処理学会研究会開催通知

研 究 会 名	日	時	場 所	備 考
データ・ベース	6月28日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	
マン・マシン・システム	7月11日(水)	13:30～16:30	同 上	
計算機設計自動化	7月25日(水)	14:00～17:00	同 上	

### 1. データ・ベース研究会

主 査: 西 野 博 二

代表幹事: 国 井 利 泰

日 時 6月28日(木) 午後2時～5時

場 所 機械振興会館 地下3階研修2号室

[港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営線大門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一汐谷線 東京タワー下車, 多摩川等々力ー東京駅八重洲口線 飯倉1丁目下車, Tel. (03) 434-8211]

議 題 (1) データ・ベース管理システム最近の動向

小林 功武 (ユニバック総研)

概 要 データ・ベース管理システムのいくつかの異った動機, 異った形式, 異ったアプローチを紹介する.

(2) 学術研究におけるデータ・ベースの意義

山本 毅雄 (東大, 大型センター)・国井 利泰 (東大, 理)

概 要 国際的機関・学会から研究者個人までが学術データの集積・管理・利用に際して果すべき役割とその影響を論ずる.

### 2. マン・マシン・システム研究会

主 査: 大 須 賀 節 雄

代表幹事: 飯 田 善 久

日 時 7月11日(水) 午後1時半～4時半

場 所 機械振興会館 6階 67号室

(所在地は1参照)

議 題 (1) OLIMPIC-LSI パターン修正システム

吉田 憲司・倉持 矩忠 (東芝, 総研)

概 要 LSI のパターン・データを, グラフィック・ディスプレイ装置を用いて修正するシステム (OLIMPIC) について報告する.

(2) HIGPSL: LISP の機能を活用したインタラクティブ・グラフィック用の高水準プログラミング・システム 間野 暢興 (電総研) 他

概 要 グラフィックスを用いるユーザーを, そのプログラミングの労力から解放するため, 多くの基本的機能を内蔵し, ユーザーは, 本質的な情報を与えるだけでよい高水準のシステムを開発した. ユーザーからの画面構造情報と, インタラクション情報を解釈しながら, 全体がユーザーの目的とするアプリケーション・システムとして働く.



(3) 自由曲面処理システム

小島 俊雄・木村 靖夫・中村 達也 (機械技研)

概要 グラフィック・ディスプレイを利用して、格子点の位置変更により、所望の曲面を得る会話形式の実験システム。

### 3. 計算機設計自動化研究会

主 査: 加 納 弘

代表幹事: 宇 都 宮 公 訓

日 時 7月25日(水) 午後2時～5時

場 所 機械振興会館 地下3階研修2号室

(所在地は1参照)

議 題 (1) 論理装置設計自動化の現状と問題点

元岡 達 (東大, 工)

概要 計算機などの論理装置の設計自動化について、現在問題となっていることがらと今後の進むべき方向について論ずる。

(2) 順序回路自動設計システムにおける状態割当てについて

吉川 良一・相磯 秀夫・所 真理雄 (慶大, 工)

概要 SAUCIER による状態割当ての方法を確率的手法を用いて修正した。これについて主に述べる。

(3) 計算機設計評価システム

藤野 喜一・箱崎 勝也・服部 光宏・山本昌弘

矢野美智子・梅村 護 (日電, 中研)

概要 計算機のソフトウェア/ハードウェアの評価のための MPGS/GPMS システムの概要と応用について述べる。

---

## 研 究 会 運 営 細 則

第1条 研究会活動は、主査および幹事による研究連絡会と、会員の自由参加による研究発表会により行なう。

第2条 研究会活動に要する経費は、調査研究運営委員会の決定に従って支出するものとし、費目間の流用は原則として行なわないものとする。

第3条 研究連絡会は、研究会主査および幹事により構成し、幹事のうち1名を代表幹事と定める。研究会主査は、研究連絡会を開催し、下記の事項を審議する。

(1) 次年度の研究会活動計画書を様式1により立案作成のうえ、1月末までに調査研究運営委員会に提出する。

(2) 研究会の分野における調査および研究を行なう。

(3) 年間4回以上の研究発表会を開催し、その運営を行なう。

(4) 研究会報告を様式2により当年度末に提出する。

第4条 研究発表会は下記により行なう。

- (1) 研究発表会の日時、会場および議題は、様式3により、原則として発表当日の75日前までに学会事務局に送付するものとし、学会事務局はこれを学会誌に掲載し、会員に周知する。
- (2) 研究発表者は、資料および内容梗概を様式4および5により作成し、発表当日の20日前までに学会事務局に送付する。発表者には、1件につきその資料10部を贈呈する。
- (3) 研究会主査は、研究発表者の提出した内容梗概を査読のうえ、研究発表終了後15日以内に学会事務局に提出する。学会事務局は、これを学会誌に掲載する。

---

## 研究会登録申込みについて

48年度研究会は、特定研究課題について、全会員向けの研究発表を主体といたします。研究会の研究分野、計画は別記のようになっておりますので、常時研究会に出席を希望される会員は、下記により、資料の予約登録をお願いいたします。

(予約登録申込数によって資料作成部数を決めますので、予約されない方、または年度途中でお申し込みの方は、資料入手が困難になります。)

### 記

1. 申込方法 別添の申込用紙により、所定の代金を添えてお申し込みください。
  - (1) 賛助会員で法人名義により登録される場合は、〔 〕内に明記すること。
  - (2) 官庁、学校等で所定の請求用紙が必要な場合は、同封添付すること。
  - (3) その他必要な事項は、その旨備考欄に明記すること。
2. 予約登録料 本年度は、各研究会とも充足直後のため、開催数がやや少なくなりましたので、1研究会当たり1人1,200円といたします。なお、登録会員でご欠席の場合は、後日郵送いたします。
3. 送金方法  
現金書留——代金1,200円に登録申込書を同封のこと。  
郵便振替——通信欄に48年度研究会資料代金と明記する(口座「東京 83484 番」)。登録申込書は別送のこと。  
銀行振込——三菱、第一勧銀、住友の各虎ノ門支店、あるいは三井日比谷支店(各普通預金口座)に振り込む。この際、必ず振込金受入証(または副報告書)に、「48年度研究会資料代金」と明記のうえ、登録申込書と共に別送のこと。
4. 受付け 学会事務局では、入金を確認した時点が正式の受付けといたします。

昭和 年 月 日

### 昭和 48 年度情報処理学会研究会登録申込書

登録希望 (○でか こむ)	研 究 会	予約登録料	送金方法 (○でかこむ)	入 金 確 認		
				48	49	50
1	データ・ベース	1,200 円	現金書留 郵便振替 銀行振込			
2	マン・マシン・ システム	1,200	現金書留 郵便振替 銀行振込			
3	計算機設計自動 化	1,200	現金書留 郵便振替 銀行振込			
4	医療情報処理	1,200	現金書留 郵便振替 銀行振込			

○申込会員氏名 \_\_\_\_\_ (会員番号 No. \_\_\_\_\_)

○資料送付先〔個人・団体——いずれかを○でかこむこと〕

(〒 \_\_\_\_\_)

(Tel. \_\_\_\_\_)

○予約金払込方法

持 参	現 金 書 留	郵 便 振 替	銀 行 振 込
月 日	送 付 月 日	月 日	月 日 銀行宛

○備 考

- 情報処理学会の請求書 ( 通), 見積書 ( 通), 納品書 ( 通)が必要です.  
(請求先: \_\_\_\_\_, 日付記入: 可・否)
- 申込者所属機関の書類が必要ですので, 同封します.

○申込・問合せ (社)情報処理学会 Tel. (03) 431-2808 (直通)

(〒 105) 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 314 号

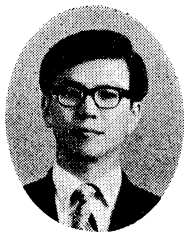
## 昭和 47 年度論文賞の決定

昭和 47 年度情報処理学会論文賞は、同賞選定委員会（穂坂委員長ほか 12 名）において慎重審議の結果、以下の 3 編が最終候補として推せんされ、第 153 回理事会（48 年 3 月）の承認を得て決定されました。

なお、以下の 3 編に対する、本会表彰規程による賞状と賞金との授与は、去る 5 月 17 日に開催の第 11 回情報処理学会通常総会の席上で、清野会長の手によりとり行なわれました（巻末本会記事参照）。

### 記

○「ページング・マシンにおけるスワッピング・アルゴリズムの比較とプログラムの動作解析」(Vol. 13, No. 2, pp. 81~88)



益田 隆司 (正会員)

昭和 14 年生。昭和 38 年東京大学工学部応用物理学科卒業。40 年同修士課程修了。同年より(株)日立製作所にて、HITAC 5020 TSS の研究開発、計算機システムの性能評価の研究に従事、現在同社システム開発研究所に勤務している。その間、昭和 45 年より 1 年間、米国カーネギ・メロン大学に留学した。



高橋 延匡 (正会員)

昭和 8 年生。昭和 32 年早稲田大学理工学部数学科卒業。同年より(株)日立製作所にて、HIPAC 103 用 FORTRAN コンパイラの開発、HITAC 5020 モニタの開発、5020 TSS の研究開発、計算機システムのシステム評価、OS の原理などの研究に従事、現在同社中央研究所に勤務している。



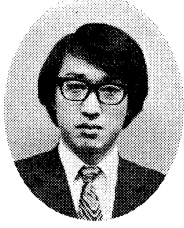
吉澤 康文

昭和 19 年生。昭和 42 年東京工業大学理工学部応用物理学科卒業。同年より(株)日立製作所にて、HITAC 5020 TSS の研究開発、計算機システムの性能評価の研究、オンライン・システムの方式と応用の研究に従事、現在同社システム開発研究所に勤務している。

〔概要〕 本論文は、バーチャル・メモリ方式を有する計算機システムの性能評価について述べている。実システムのもとで動作する種々のプログラムの実行時の命令単位のアドレス軌跡情報を利用して、バーチャル・メモリ・システムの性能に特に大きな影響を与える主メモリと 2 次メモリの間のスワッピング・アルゴリズムの比較検討、およびページング機構のもとにおけるプログラムの動作解析を行なっている。

本論文は、今後のバーチャル・メモリ方式による計算機システムの方式設計に対して、実用性のある有効な指針を提供しているものと考えられる。

○「コンフリクト・フラグをもったハッシュ記憶法」(Vol. 13, No. 8, pp. 533~539)



古川 康一 (正会員)

昭和17年生。昭和40年東京大学工学部計数工学科卒業，42年同修士課程修了。同年より通産省工業技術院電子技術総合研究所にて，TSS，データ構造，コンピュータ・グラフィックスの研究に従事，現在プログラムの自動作成に興味をもち，研究を行なっている。

〔概要〕 本論文は，ファイル・システムを作るときの有力な方法であるハッシュ記憶法に関し，コンフリクト・フラグを用いたときの項目の登録，検索および削除のアルゴリズムを与えている。また，そのアルゴリズムを用いたときの項目の平均棄却時間を解析的に求め，他の方法との効率の差を明らかにしている。

本論文で示された方法は，指定された要素が，ある有限集合に属しているかどうかを判定する場面に対して有効であり，マクロ・アセンブラの命令表，ハッシュ表のあふれの処理など多くの問題に応用することができよう。

○「連続・離散系両用シミュレーション・プログラムの開発」(Vol. 13, No. 9, pp. 599~605)



赤塚 武昭 (正会員)

昭和9年生。昭和33年東京大学工学部応用物理学科卒業。同年より東レ(株)にて，コンピュータを中心とする計測技術の開発に従事，現在同社エンジニアリング研究所主任研究員。その間，昭和43年より2年間，米国ケースウェスタン・リザーブ大学に留学，M.S.。



吉田 信之

昭和18年生。昭和43年東京工業大学理工学部制御工学科卒業。同年より東レ(株)にて，計測技術開発，計算機ソフトウェアの開発，特にプラント・シミュレーション，プロセス制御に伴うハードウェア，ソフトウェアの研究開発に従事，現在同社エンジニアリング研究所研究員。



加藤 明憲 (正会員)

昭和15年生。昭和37年東京工業大学理工学部物理学科卒業。同年より東レ(株)にてコンピュータの応用研究，特にシミュレーション関係の研究と，プロセス・コンピュータのソフトウェアの開発に従事，現在同社エンジニアリング研究所研究員。

〔概要〕 大規模なシステムの計画，設計において，計算機の発達とともにシミュレーションは非常に重要な技術となってきた。これに対してシミュレーション・プログラムは，それぞれ連続系，離散系専用のものが広く使用されてきた。

本論文は，連続・離散系を含む実際のシステムを容易に表現でき，かつシミュレーション可能な新しいタイプのプログラムについて，基本的な考え方，システム要素について述べ，計算例を示している。この他に多くの適用例もあり実用性の高いユニークなプログラムである。今後の応用面での成果が期待できるであろう。

## 昭和 48 年 9 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日	時	場 所	備 考
データ・ベース	9月13日(木)	14:00~17:00	機械振興会館	
マン・マシン・システム	9月25日(火)	14:00~17:00	同 上	詳細次号参照
計算機設計自動化	9月28日(金)	14:00~17:00	同 上	詳細次号参照

### ○データ・ベース研究会

主 査: 西 野 博 二

代表幹事: 国 井 利 泰

日 時 9月13日(木) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館 地下3階研修1号室

[港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営線大門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一波谷線 東京タワー下車, 多摩川等々力一東京駅八重州口線 飯倉1丁目下車, Tel. (03) 434-8211]

議 題 (1) JICST の大規模情報検索 笹森勝之助 (予定, JICST)

概 要 抄録誌の機械的編集, SBI サービス, 文献検索 MT の提供など, 大規模な文献ファイルを使用した JICST の文献検索システムの現状紹介および今後の問題点と方向づけを論ずる.

(2) CODASYL のデータベース用語

西村 恕彦・植村 俊亮 (電総研)

概 要 CODASYL のデータベース用語の開発のいきさつと現状を紹介する. 言語の仕様と問題点を概説する.

○その他の研究会 (次号本欄にておしらせいたします.)

### ○資料予約登録申込み

研究会資料の予約登録を希望される会員は, 第 14 巻第 5 号 (48 年 5 月号) の本欄をご参照ください. なお, お申込みは, 1 研究会につき 1 枚ずつお願いいたします (用紙のゼロックス・コピーも可).

## 第 14 回 大 会 の お し ら せ

第 14 回情報処理学会大会を下記により開催いたします. ふるってご参加ください.

なお, 論文発表を希望される会員には, 次号 (8月号) 本欄の規定にしたがい, **9月20日**までに論文概要を提出いただくことになっております. どうぞご用意ください.

記

日 時 昭和 48 年 12 月 10 日 (月), 11 日 (火)

会 場 未定

## 会 員 名 簿 の 作 成 に つ い て

昭和48年版情報処理学会会員名簿を作成することになりましたので、全会員のご協力をお願いいたします。本会会員の方はもちろん、本号綴込みの「名簿作成資料」に所要事項ご記入のうえ、来る8月末日までに（必着）本会事務局宛ご返送ください。すでに登録されている事項に変更のない方も、もちろんご送付くださるようお願い申し上げます。

なお、従来は会員の方々に無料で配布いたしておりましたが、諸般の事情により、本年は費用の一部（300円位の予定）をご負担いただく有料予約制とし、発行部数も予約申込みに応じて限定することといたしました。従って、上記「名簿作成資料」の所要事項欄には、**名簿の要・不要**を併せて明記くださいますようお願い申し上げます。（予約料については、9月号綴込みの振替用紙にて、10月末日までにご送付ください。）

## 計 算 機 設 計 自 動 化 講 習 会 の お し ら せ

本会計算機設計自動化研究会では、下記により講習会を開催いたします。ふるってご参加ください。

なお、お申込みは、次号（8月号）綴込みの申込書に代金を添え、本会事務局までご送付ください。

### 記

日 時 昭和48年9月19日（水）、20日（木）  
会 場 機械振興会館6階会議室（定員50名）  
題目および講師

9月19日（水）

計算機設計自動化概説	元岡 達（東大）
方式設計の自動化	相磯 秀夫（慶大）
論理設計言語	黒住 祥祐（京産大）
マイクロプログラムとシミュレーション	倉地 正（東芝）
分割と配置の自動化	田中千代治（三菱）

9月20日（木）

配線の自動化	平川 和之（沖）
パッケージ診断の自動化	小田 雅弘（富士通）
製造と検査の自動化	加納 弘（日立）
自動化の総合システム	寺本 雅則（日電）

参加費 正会員 5,000円（含テキスト代）

学生会員 3,000円（同上）

非会員 7,000円（同上）

定 員 50名（定員になり次第申込みを締め切ります。）

## 昭和 48 年 9 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日 時		場 所	備 考
データ・ベース	9月13日(木)	14:00~17:00	機械振興会館	
マン・マシン・システム	9月25日(火)	14:00~17:00	同 上	
計算機設計自動化	9月28日(金)	14:00~17:00	同 上	

### ○第 2 回 データ・ベース研究会

主 査：西 野 博 二  
代表幹事：国 井 利 泰

- 日 時 9月13日(木) 午後2時~5時  
会 場 機械振興会館 地下3階研修1号室  
〔港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町駅, 都営線大門駅下車, 国電：浜松町駅下車, バス：新橋一汐谷線 東京タワー下車, 多摩川等々力一東京駅八重洲口線 飯倉1丁目下車, Tel. (03) 434-8211〕
- 議 題 (1) JICST の大規模情報検索 笹森勝之助 (予定, JICST)  
(2) CODASYL のデータベース用語  
西村 恕彦・植村 俊亮 (電総研)  
(概要については、いずれも前号本欄をご参照ください。)

### ○第 2 回 マン・マシン・システム研究会

主 査：大須賀節雄  
代表幹事：飯田 善久

- 日 時 9月25日(火) 午後2時~5時  
会 場 機械振興会館 地下3階研修2号室 (所在地は上記のとおり)
- 議 題 (1) デジタル・フライト・シミュレータ  
梶原 景範 (三菱プレジジョン)  
概 要 トレーナーとしてのデジタル・フライト・シミュレータの概要およびマン・マシン・システムとしての今後の方向について述べ、さらに研究用の汎用シミュレータについて報告する。  
(2) 人間・機械系における表示・制御システムの設計について  
柳川 邦雄 (鉄道労働科学研)  
概 要 表示・制御システムの設計にあたり、考慮すべき要件および視認性、操作性について、マン・マシンの観点から考察する。  
(3) ディスプレイを用いた漢字特徴テーブルの修正システム  
古川茂雄, 三田順業 (日電中研)  
概 要 手書き漢字のオンライン認識に使われる漢字特徴テーブルを、ディスプレイを用いて修正するシステムについて述べる。

### ○第 2 回 計算機設計自動化研究会

主 査：加 納 弘  
代表幹事：宇都宮 公 訓

- 日 時 9月28日(金) 午後2時~5時  
会 場 機械振興会館 地下3階研修1号室 (所在地は前記のとおり)



- 議 題 (1) 汎用論理シミュレータについて 野溝文俊, 元岡 達 (東大)  
 概 要 ゲート・レベルおよびファンクショナル・レベルのモデルを統  
 一的に扱う論理シミュレータの構成法について述べる.
- (2) Real Time Physical Distribution Simulation System について  
 箱崎 紘 (三井造船)  
 概 要 グラフィック CRT を使用し, 時間軸を自由に变化させ, 目  
 見ながら対話可能な汎用シミュレーション・システムについて  
 報告する.
- (3) マイクロ診断に関する考え方とその応用 稲葉延武 (日本 IBM)  
 概 要 S/360, 370 におけるマイクロ診断の方式およびそれらの発展過  
 程と今後の方向について論ずる.

## 講習会開催のおしらせ

本学会では, 計算機設計自動化研究会ならびに編集委員会の尽力により, つぎの二つの講習会を開きます. 定員に限りがありますので, 下記申込書により, 早目にお申し込みください.

### 1. 計算機設計自動化講習会 (東京のみ)

本会計算機設計自動化研究会の数年来の成果ならびに去る 6 月 25 日~27 日に米国ポートランドで開催された DA Workshop 国際シンポジウム (同研究会から 7 名出席) の最も斬新な世界的潮流を取り入れ, 基本的設計思想から各社の実際面まで含めて, 懇切に解説いたします. 計算機の設計に限らず, 広く情報処理システム設計に志ある方々には, 最適の講習会として強くお勧めいたします.

#### ○プログラム

月/日	時 間	題 目	講 師
9/19 (水)	9: 30~10: 20	計算機設計自動化概説	元岡 達 (東 大)
	10: 30~11: 50	方式設計の自動化	相磯 秀夫 (慶 大)
	12: 50~14: 10	論理設計言語	黒住 祥祐 (京産大)
	14: 20~15: 40	マイクロプログラムとシミュレーション	倉地 正 (東 芝)
	15: 50~17: 10	分割と配置の自動化	田中千代治 (三 菱)
9/20 (木)	9: 30~10: 50	配線の自動化	平川 和之 ( 沖 )
	11: 00~12: 20	パッケージ診断の自動化	小田 雅弘 (富士通)
	13: 20~14: 40	製造と検査の自動化	加納 弘 (日 立)
	14: 50~16: 10	自動化の総合システム	寺本 雅則 (日 電)

○会 場 機械振興会館 6 階会議室

○定 員 50 名限り (定員になり次第申込みを締め切ります.)

○参加費\* 正会員 (賛助も含む) 5,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 7,000 円

\*いずれもテキスト代を含む. 賛助会員は一口につき一名参加可能です.

### 2. マイクロプログラミング講習会 (東京および関西)

真に効率よい, しかもバランスのとれた電子計算機システムは, ハードウェアとソフト

ウェアを切り離して設計しては実現できません。マイクロプログラミングはハードウェアとソフトウェアを結びつけ融合させる技術として注目を集めています。本講習会は、本会誌6月号(第14巻6号)の特集号執筆者にとくにお願いして、理論より実用に重点をおき、マイクロプログラミング技術の基本から、応用の現状、将来の可能性までを詳しく講述していただくものです。テキストには上記特集号を使用しますが、当日、補足資料を豊富に配布する予定になっております。

○プログラム (東京)\*

月/日	時 間	題 目	講 師
10/15 (月)	10:00~11:30	マイクロプログラミング概説	相磯秀夫(慶大) 萩原 宏(京大) 溝口哲也(東芝) 滝沢克彦(日立)
	13:00~14:50	マイクロプログラミング制御方式とその設計	
	15:10~16:40	マイクロプログラム用記憶装置	
10/16 (火)	9:20~10:50	マイクロプログラムの記述とシミュレーション	倉地 正(東芝) 山本 巖(日電) 長谷川昌昭(IBM) 稲葉延武(IBM)
	11:00~12:30	通信制御装置とマイクロプログラミング	
	13:30~15:00	マイクロプログラミングとエミュレータ	
	15:20~16:50	マイクロ診断とその実際	
10/17 (水)	10:00~11:30	IBM 360/20 におけるマイクロプログラミングの実際	宇都宮公訓(早大) 藤野喜一(日電) 飯塚 肇(電総研)
	12:50~14:20	言語志向型マシンとマイクロプログラミング	
	14:50~16:20	ミニコンピュータとマイクロプログラミング	

\* 関西は11月に開催の予定ですが詳細未定です。決定次第本欄にてお知らせいたします。

○会 場 機械振興会館 地下3階研修室

○定 員 120名限り(定員になり次第申込みを締め切ります。)

○参加費\* 正会員(賛助も含む) 5,000円, 学生会員 2,500円, 非会員 7,000円  
いずれもテキスト代(600円)は含んでおりません。会員の方はご持参ください。  
賛助会員は一口につき一名参加可能です。

## 講習会受講申込書

○以下のとおり申し込みます(該当するものを○でかこむ)。

1. 計算機設計自動化〔正会員, 学生会員, 賛助会員, 非会員〕
2. マイクロプログラミング〔正会員, 学生会員, 賛助会員, 非会員〕

○受講料 円也は下記により納入します(○でかこむ)。

- a. 現 金〔持参, 同封, 別送〕
- b. 郵便振替(振込口座: 東京 83484 宛)
- c. 銀行振込〔三菱, 第一, 住友各虎の門支店, 三井日比谷支店宛〕

○申込者氏名 (会員番号: )

○連絡先(〒 ) (Tel. )

## 第 14 回大会講演申込みについて

第 14 回情報処理学会大会が下記により開催されます。論文発表を希望される会員は、下記要領により早目にお申し込みください。

### 記

- 日 時 昭和 48 年 12 月 10 日 (月), 11 日 (火)
- 会 場 早稲田大学理工学部
- 講演申込 9 月 20 日 (木) 締切
- 申込方法 添付申込用紙に、講演題目、要旨その他必要事項をご記入のうえ、本会事務局宛お送りください。なお、封筒には「(第 14 回大会) 講演申込み」と明記のこと。
- 論文提出 予稿集のための原稿は、10 月上旬に所定の用紙をお送りいたしますので、10 月 20 日 (土) までにご提出願います。
- そ の 他 詳細については、決定次第本欄にてお知らせいたします。
- 問合・申込先 (〒 105) 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館内)  
(社)情報処理学会 第 14 回大会係 電話 (03) 431-2808

## 第 14 回情報処理学会大会講演申込用紙

題 目	
(ふ り が な) 氏 名 (講演者に○をつける)	
勤 務 先	(名 称) (所在地)
講演者に対する連絡先	(電 話)
講演内容の部門別 (あなたの講演に関係あるすべての部門に○印をおつけください。)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ハードウェアおよびアーキテクチャ               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. アーキテクチャ (含ミニ・コンピュータ)</li> <li>b. コンピュータ・ネットワーク</li> <li>c. 入出力装置, 演算, 記憶部</li> <li>d. その他</li> </ul> </li> <li>2. ソフトウェア               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. プログラミング言語, 処理系</li> <li>b. モニタ</li> <li>c. データ・マネジメント</li> <li>d. ソフトウェア工学, 技術</li> <li>e. 保守, 信頼性, 評価</li> <li>f. その他</li> </ul> </li> <li>3. 数 理               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. アルゴリズム, 形式言語理論</li> <li>b. 数値演算</li> <li>c. 非数値演算</li> <li>d. 最適化法</li> <li>e. 情報検索, 自然言語</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>f. その他</li> <li>4. 技術, 科学への応用               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. プロセス制御</li> <li>b. パタン認識</li> <li>c. ロボットおよび人工知能</li> <li>d. グラフィックス</li> <li>e. CAD, デザイン・オートメーション</li> <li>f. マン・マシン・システム</li> <li>g. その他</li> </ul> </li> <li>5. 社会, 人文, マネジメントへの応用               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. システム理論, 技術</li> <li>b. シミュレーション, モデリング</li> <li>c. ファイルとデータベース</li> <li>d. MIS</li> <li>e. 教 育</li> <li>f. その他</li> </ul> </li> <li>6. そ の 他</li> </ul>

講演内容の概要 (300 字程度)

申込書提出期限 昭和 48 年 9 月 20 日 (木)

申 込 先 (〒105) 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館内)

(社)情報処理学会 第 14 回大会係 電話 (03) 431-2808

## 昭和 48 年 9 月情報処理学会研究会一覧

研究会名	日	時	会場	備考
データ・ベース	9月13日(木)	14:00~17:00	機械振興会館	次回は11~12月に開催の予定
マン・マシン・システム	9月25日(火)	14:00~17:00	同上	
計算機設計自動化	9月28日(金)	14:00~17:00	同上	

## 関西支部大会開催のおしらせ

情報処理学会関西支部大会を下記のとおり開催いたします。関西方面在住の会員の方々はふるってご参加ください。

### 記

日 時 昭和 48 年 10 月 26 日 (金) 9:30~17:00  
 会場 日本生命(株)中之島研修所 {〒 530 大阪市北区常安町 29 日本生命(株)中之島ビル内 電話 (06) 443-3131}

### プログラム

- 9:30~9:40 支部長あいさつ 坂井 利之 (京大)
- 9:40~10:50 講演: 計算機システムの評価について 萩原 宏 (京大)
- 11:00~12:30 関西支部研究会の研究活動報告
  - 1) ソフトウェア研究会 長尾 真 (京大)
  - 2) 数値解析研究会 牧之内三郎 (阪大)
  - 3) システムソルビング研究会 萬代 三郎 (阪大)
- 13:30~17:00 パネル討論会: データベースをめぐる諸問題
  - a) 司会者あいさつ 田中幸吉, 木沢 誠 (阪大)
  - b) データベース管理システムの概要——CODASYL REPORT  
を中心として—— 植村 俊亮 (電総研)
  - c) MEDLARS, MEDLINE とその周辺について 野添 篤毅 (国際医情セ)
  - d) 文献検索の自動化について——文献検索におけるデータ操  
作—— 豊田 順一 (阪大)
  - e) 個別システムの統合とその問題点 梅本 貞治 (住電)
  - f) データベース設計の考え方 窪田八洲洋 (川重)
  - g) バンキングシステム固有の問題点 山川 博 (大和銀行)
  - h) ディスカッション

## 会員名簿について

本誌7月号(第14巻7号)にてお知らせいたしました情報処理学会会員名簿(昭和48年版)については、多数の会員から作成資料のご回答をいただきました。ご協力を感謝いたします。

さて、上記作成資料にてお申し込みいただきました名簿の購入予約につきましては、その予約代金を本号とじ込みの用紙にてご納入いただくことになっておりましたが、事情により払込用紙は次号(10月号)にとじ込ませていただきますので、どうぞそれをご利用ください。

なお、名簿は本年末か明年早々(1月頃)に発行の予定です。

## マイクロプログラミング講習会について

本誌8月号(第14巻8号)にてお知らせいたしましたマイクロプログラミング講習会については、同じ内容のものを関西でも11月に開催することになっておりましたが、都合により、開催日時を明年1月～2月頃に変更させていただきます。詳細は決定次第本欄にてお知らせいたしますので、どうぞ悪しからずご了承ください。

なお、10月15日～17日開催の東京会場については、準備の都合上、一応9月末日をもって締め切らせていただきます。それ以降のお申し込みについては、受講の可否を本会事務局までお問い合わせのうえ、お申し込みください。

## 医療情報システム国際シンポジウム (MEDIS '73)

日 時 昭和48年10月4日(木)～6日(土)

会 場 大阪商工会議所国際会議場

定 員 600名(先着順)

参加費 10,000円(含予稿集代)

申込・問合先 (財)関西情報センター MEDIS '73 係 {〒530 大阪市北区玉江町2-2  
大阪国際貿易センタービル内 電話(06)448-6631}

## 昭和 48 年 11 月～12 月情報処理学会研究会開催通知

研 究 会 名	日	時	場 所	備 考
デ ー タ ・ ベ ー ス	12月13日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	
マン・マシン・システム	11月21日(水)	14:00～17:00	同 上	
計算機設計自動化	11月21日(水)	14:00～17:00	京都産業大学	

### ○第 3 回 データ・ベース研究会 主 査: 西 野 博 二 代表幹事: 国 井 利 泰

日 時 12 月 13 日 (木) 午後 2 時～5 時  
 場 所 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室  
 [港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線 神谷町駅, 都営線 大門駅下車,  
 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一汐谷線 東京タワー下車, 多摩川等々  
 力一東京駅八重洲口線 飯倉 1 丁目下車, Tel. (03) 434-8211]

議 題 (1) 部品表を中核とした DB/DC システムについて

塩谷 勝 (トヨタ)

[概要] 自動車工業のすべての企業活動の基礎的情報としての部品表を中核とした DB/DC (Data Base/Data Communication) システムの考え方について述べる.

(2) 国鉄における運転計画伝達システムと汎用ファイル・プロセサ(GFP)について 林 真理 (国鉄)

[概要] 国鉄の運転業務のコンピュータ化のため DBMS として開発された GFP について, その方式および使用経験などを紹介する.

### ○第 3 回 マン・マシン・システム研究会 主 査: 大 須 賀 節 雄 代表幹事: 飯 田 善 久

日 時 11 月 21 日 (水) 午後 2 時～5 時  
 場 所 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室 (所在地は上記のとおり)

議 題 (1) ネスティング・システムの一アプローチ 石坂工児 (富士通)  
 [概要] 任意形状のパターン配置において, マンマシン・グラフィック・ディスプレイを使ったアプローチを紹介する.

(2) サテライト構成におけるインタラクティブ・グラフィックスのソフトウェア 佐賀六典, 黒崎悦明 (沖)  
 [概要] サテライト・グラフィックス (AGENT システム) の開発にあたり, 対話型言語の仕様を中心に本システムのソフトウェアの紹介と問題点について論ずる.

(3) 新幹線運行管理 (COMTRAC) システムにおける広域運転整理 長谷川 豊 (鉄研)

[概要] グラフィック・ディスプレイを使って広域的に列車運行を監視し, 列車ダイヤが乱れるとそれを変更するシステムについて述べる.



### ○第3回 計算機設計自動化研究会

主 査：加 納 弘

代表幹事：宇 都 宮 公 訓

日 時 11月21日(水) 午後2時～5時

場 所 京都産業大学 1号館3階105号教室

[京都市北区上賀茂, 市営バス: 京都駅—上賀茂神社線 上賀茂神社(終点)下車, 京都駅—西賀茂線 御園橋下車(いずれも約30分), さらに上賀茂神社—京都産業大学線またはスクールバスを利用(約5分), Tel. (075) 701-2151]

議 題 (1) セルラ・マイクロプログラム

篠原 武, 打浪清一, 手塚慶一(阪大)

[概要] システム記述言語, セル構造のもつべき性質と記述言語から目的セル構造を構成するシステム構成法を論ずる.

(2) マイクロプログラム・ジェネレータ 馬場敬信, 萩原 宏(京大)

[概要] マイクロプログラムおよびマシンの記述言語  $\mu$ PL と, これから水平形マイクロ命令を生成する方法について述べる.

(3) TOSBAC 5400-150 自動故障診断システム 三浦晴久(東芝)

[概要] 自己診断可能なハードウェアおよびソフトウェア・システムの一実施例について, その概要を紹介する.

### 関西支部大会開催のおしらせ

情報処理学会関西支部大会を下記のとおり開催いたします. 関西方面在住の会員の方々はふるってご参加ください.

日 時 昭和48年10月26日(金) 9:30~17:00

会 場 日本生命(株)中之島研修所 {〒530 大阪市北区常安町29 日本生命(株)中之島ビル内 電話(06)443-3131}

#### プログラム

9:30~9:40 支部長あいさつ 坂井 利之(京大)

9:40~10:50 講演: 計算機システムの評価について 萩原 宏(京大)

11:00~12:30 関西支部研究会の研究活動報告

1) 数値解析研究会 牧之内三郎(阪大)

2) ソフトウェア研究会 長尾 真(京大)

3) システムソルビング研究会 萬代 三郎(阪大)

13:30~17:00 パネル討論会: データベースをめぐる諸問題

世話役: 田中幸吉, 木沢 誠(阪大)

a) CODASYL のデータベース用共通言語

植村 俊亮(電総研)

b) MEDLARS, MEDLINE とその周辺について

上田 修一(国際医情セ)

c) 文献検索の自動化について(文献検索におけるデータ操作)

豊田 順一(阪大)

d) データベース運用上の諸問題

梅本 貞治(住電)

e) 製造業におけるデータベースの実施例 窪田八洲洋(川重)

f) オンライン・バンキングファイル制御の事例

山川 博(大和銀)

g) ディスカッション

## 昭和 48 年 12 月～ 49 年 1 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日	時	場 所	備 考
データ・ベース	12月13日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	前号参照
医療情報処理	12月14日(金)	14:00～17:00	同 上	本号参照
マン・マシン・システム	1月21日(月)	14:00～17:00	同 上	次号参照

### ○第 1 回 医療情報処理研究会 主 査: 吉 本 千 禎

- 日 時 12月14日(金) 午後2時～5時  
場 所 機械振興会館 地下3階2号室  
議 題 (1) 僻地医療のためのデータ処理と情報処理 吉本千禎(北大)  
〔概要〕 北大で試みている診断データの伝送処理および僻地医療制度の改善をめざした医療情報のオンライン処理について述べる。  
(2) 未 定

### 「計算機設計自動化研究委員会報告」頒布のお知らせ

本書は、去る9月19, 20日に開催された計算機設計自動化講習会のテキストにも使用されたもので、本会計算機設計自動化研究委員会(主査: 昭和46年度元岡達, 47年度加納弘)が行なった研究・調査の成果報告であり、次の章から成っています。

- 1) 緒言, 2) 方式設計と論理設計, 3) 実装設計と製造設計, 4) 製造・検査,
- 5) 総合システム, 6) LSI の設計自動化, 7) DAの将来像, 8) 結言.

国内のようすや Design Automation Workshop の報告を中心に、計算機設計自動化の現状を、豊富な参考文献のリストを添えて解説しています。最近の技術の動向を反映して、RAS、マイクロプログラムや bottom-up の論理設計の自動化、マイクロ診断、設計自動化システムのデータベース、LSI の設計自動化も取りあげられ、議論されています。この方面の研究者・技術者には是非一読、参照をお勧めいたします。購入ご希望の方は、下記により早めにお申し込みください。

- 書 名 計算機設計自動化研究委員会報告(昭和46, 47年度)  
ページ数 B5判122ページ(50字×38行/ページ)  
頒布価格 1,000円(ただし郵送の場合は1,200円)  
申込方法 必ず上記金額を添えて申込みのこと。(後払いはご遠慮ください。)  
なお銀行振込の場合は、必ず別途‘送金内訳’をお送りください。

## マイクロプログラミング講習会(関西)開催のお知らせ

本欄により予告いたしましたとおり、標記の講習会を下記により開催いたします。関西方面在住の方、また東京で参加できなかった方々はふるってご参加ください。

真に効率よい、しかもバランスのとれた電子計算機システムは、ハードウェアとソフトウェアを切り離して設計しては実現できません。マイクロプログラミングはハードウェアとソフトウェアを結びつけ融合させる技術として注目を集めています。本講習会は、本会誌6月号(第14巻6号)の特集号執筆者にとくをお願いして、理論より実用に重点をおき、マイクロプログラミング技術の基本から、応用の現状、将来の可能性までを詳しく講述していただくものです。テキストには上記特集号を使用しますが、当日、補足資料を豊富に配布する予定になっております。

○プログラム(関西)

月/日	時 間	題 目	講 師
1/29(火)	10:00~11:30	マイクロプログラミング概説	萩原 宏(京大)
	13:00~14:50	マイクロプログラミング制御方式とその設計	溝口哲也(東芝)
	15:10~16:40	マイクロプログラム用記憶装置	滝沢克彦(日立)
1/30(水)	9:20~10:50	マイクロプログラムの記述とシミュレーション	倉地 正(東芝)
	11:00~12:30	通信制御装置とマイクロプログラミング	日比野吉弘(日電)
	13:30~15:00	マイクロプログラミングとエミュレータ	長谷川昌昭(IBM)
	15:20~16:50	マイクロ診断とその実際	松岡亜樹(IBM)
1/31(木)	10:00~11:30	IBM 360/20におけるマイクロプログラミングの実際	宇都宮公訓(早大)
	12:50~14:20	言語志向型マシンとマイクロプログラミング	藤野喜一(日電)
	14:50~16:20	ミニコンピュータとマイクロプログラミング	塚塚 肇(電総研)

○会 場 (財)関西情報センター

○定 員 80名限り(定員になり次第申込みを締め切ります。)

○参加費 正会員(賛助も含む\*)5,000円、学生会員2,500円、非会員7,000円  
いずれもテキスト代(600円)は含んでおりません。会員の方はご持参ください。  
\*賛助会員は一口につき一名参加可能です。

○申 込 先 〒530 大阪市北区玉江町 2-2(国際貿易センター)(財)関西情報センター内  
(社)情報処理学会関西支部(講習会係) Tel. (06) 448-6631

## マイクロプログラミング講習会(関西)受講申込書

以下のとおり申し込みます(該当するものを○でかこむ)。

○受講料 円也〔正会員、学生会員、賛助会員、非会員〕は下記により納入します。

a. 現 金〔持参、同封、別送〕

b. 銀行振込〔住友銀行中之島支店普通預金口座、(社)情報処理学会関西支部宛〕

○受講者氏名 (会員番号: )

○連絡先(〒 ) (Tel. )

〔注〕送付先は(社)情報処理学会関西支部(上記参照)

## 昭和 49 年 1 月～2 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日	時	会場	備考
医療情報処理	1月16日(水)	14:00～17:00	機械振興会館	下記参照
マン・マシン・システム	1月21日(月)	14:00～17:00	同上	同上
データ・ベース	2月14日(木)	14:00～17:00	同上	次号参照
計算機設計自動化	2月20日(水)	14:00～17:00	同上	同上

### ○第 2 回 医療情報処理研究会 主 査: 吉 本 千 禎

日 時 昭和49年 1 月16日(水)午後 2 時～ 5 時

会 場 機械振興会館 6 階65号室

[港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅・都営線大門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー・多摩川等々力ー東京駅八重洲口線飯倉 1 丁目下車, Tel.(03)434-8211]

議 題 (1) 放射線画像の伝送処理システムについて

高谷邦夫, 吉本千禎, 中村鎮雄, 上原敏光(北大, 応電研)

[概要] 放射線医学で診断に用いられているシンチグラムの画質の向上を目的とした画像処理を, 検査室から簡単な端末を用いて行なえるシステムを開発した. このシステムの画像伝送, システム制御, およびフィルタ処理, 統計的画像処理を紹介する.

(2) 未 定

### ○第 4 回 マン・マシン・システム研究会 主 査: 大 須 賀 節 雄 代表幹事: 飯 田 善 久

日 時 昭和49年 1 月21日(月)午後 2 時～ 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 2 号室(所在地は上記参照)

議 題 (1) 小型電子計算機による会話形リスト処理システムの実現

吉田雄二・福村晃夫(名大, 工)

[概要] LISP を基本として実現された小型電子計算機のための会話形リスト処理システムについて, その構成, 特徴を述べる.

(2) CAI 記述言語 TEACHTRAN の会話形サービスへの適用

武市宣之・津田順司(日立, 中研)

[概要] CAI プログラム記述言語 TEACHTRAN の概要と会話形サービスへの適用を述べる.

(3) 情報検索におけるマンマシン・インターフェース

村井正和(横須賀通研)

[概要] データ通信システムにおけるマンマシン・インターフェースについて, 情報検索を例として, とくにソフト面の考察を行なう.

## IFIP Congress 74 の参加について

本学会誌ですでに会告いたしました但、IFIP Congress 74 は、本年8月5日～10日に、ストックホルムの AB S:t Eriks-Mässan で、Exhibition ならびに Medinfo 74 と併せて開催されます。

参加を希望される方は、学会事務局に参加案内(申込)書がありますので、返信用封筒(20円切手添付)を同封のうえ、ご請求ください。

なお、参加費は、1974年3月31日までは350 Sw. Crs. (約21,000円)、4月1日以降は450 Sw. Crs. (約27,000円)となっております。また、Exhibition 出展料は375 Crs./m<sup>2</sup> (約22,500円)となっております。

## 会員名簿について

情報処理学会会員名簿(昭和48年度版)は、明年1月末に発行の予定で鋭意準備を進めております。

さて、たいへん遅くなりましたが、すでにご予約の方の代金受付を、下記のとおり開始いたしますので、ご協力をお願いいたします。(ご送金には、本号とじ込みの振替用紙をご利用ください。)

また、これまでにまだ申し込まれていなかった方も、同様に受け付けますので、至急お申し込みください。

なお、頒布価格は、当初300円位と見込んでおりましたが、その後の必要諸経費、とくに紙代・印刷代の高騰のため、やむなく下記のとおりといたしましたので、どうぞ悪くならずご了承ください。(すでに納入済みの方は差額をお送り願います。)

- |             |   |
|-------------|---|
| <b>書名</b>   | 情報処理学会会員名簿(昭和48年度版)   |
| <b>ページ数</b> | B5版、約200ページ   |
| <b>内容</b>   | (社)情報処理学会のすべての正・学生会員の各会員番号、氏名、学歴(付卒業年)、勤務先、現住所(付郵便番号、電話番号)を収録、ならびにすべての賛助会員の会員番号、団体名、所在地(付郵便番号、電話番号)を収録、併せて、(社)情報処理学会規程集を収録する。 |
| <b>頒布価格</b> | 会 員：500円(送料共)、非会員：3,000円(同)   |
| <b>申込方法</b> | 必ず上記金額を添えて申込みのこと。(後払いにご遠慮ください。)<br>なお銀行振込みの場合は、必ず別途“送金内訳”をお送りください。  |
| <b>・申込先</b> | 〒105 港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館内)<br>(社)情報処理学会 会員名簿係 Tel.(03)431-2808  |
| <b>・送金先</b> | a) 現金書留：同上、b) 郵便振替：東京 83484、c) 銀行振込：三菱・第一・住友銀行各虎の門支店、三井銀行日比谷支店(いずれも普通預金口座)  |

## 「ダイナミック・マイクロプログラミング・ シンポジウム報告集」頒布のお知らせ

情報処理学会プログラミングシンポジウム委員会の主催で、昭和48年7月17日から3日間、ダイナミック・マイクロプログラミング・シンポジウム（幹事：萩原宏・宇都宮公訓）が行なわれました。これはその報告集であり、ダイナミック・マイクロプログラミング、ファームウェアの発展、ベースとなる技術、応用に関する論文が討論とともに報告されています。オーソドックスなものから奇抜なものまで種々のアイディアと、貴重な実験データが随所にみられます。なお、発表論文件数は23件でした。

本報告集を入手ご希望の方には下記の要領にてお頒けいたしますので、代金を添え、早めにお申し込みください。

書名	ダイナミック・マイクロプログラミング・シンポジウム報告集
ページ数	B5版、約200ページ
頒布価格	2,000円(〒200円)
申込方法	必ず上記金額を添えて申込みのこと。(後払いはご遠慮ください。) なお銀行振込みの場合は、必ず別途「送金内訳」をお送りください。
・申込先	「会員名簿について」の欄参照。
・送金先	同上。

## 「計算機設計自動化研究委員会報告」頒布のお知らせ

本書は、去る9月19,20日に開催された計算機設計自動化講習会のテキストにも使用されたもので、本会計算機設計自動化研究委員会（主査：昭和46年度元岡達、47年度加納弘）が行なった研究・調査の成果報告であり、次の章から成っています。

- 1) 緒言、2) 方式設計と論理設計、3) 実装設計と製造設計、4) 製造・検査、
- 5) 総合システム、6) LSIの設計自動化、7) DAの将来像、8) 結言。

国内のようすや Design Automation Workshop の報告を中心に、計算機設計自動化の現状を、豊富な参考文献のリストを添えて解説しています。最近の技術の動向を反映して、RAS、マイクロプログラムや bottom-up の論理設計の自動化、マイクロ診断、設計自動化システムのデータベース、LSIの設計自動化も取りあげられ、議論されています。この方面の研究者・技術者には是非一読、参照をお勧めいたします。購入ご希望の方は、下記により早めにお申し込みください。

書名	計算機設計自動化研究委員会報告（昭和46、47年度）
ページ数	B5判、122ページ（50字×38行/ページ）
頒布価格	1,000円(〒200円)
申込方法	「ダイナミック・マイクロプログラミング・シンポジウム報告集」に同じ。